

感染状況・医療提供体制の分析(6月14日公表)

【岡山県専門家有志】 詳細
(東京都統括コメント参照) →



区分	モニタリング項目 公表の前週(月～日)の合計	前回の数値 (6月7日公表) 5月27日～6月2日	現在の数値 (6月14日公表) 6月3日～6月9日	前回との比較	分析コメント	
感染状況	① 定点当たり患者報告数 (注:報告者数は、県内84定点医療機関において、1週間に診断した患者数。定点当たり数は、1医療機関当たりの、1週間での平均患者数。)	報告数	229人	264人	→	レベル2. 感染拡大の兆候があり注意が必要 定点当たり患者報告数は 3.14人 と微増。RSウイルス感染症や手足口病は増加傾向で、A群β溶血性レンサ球菌咽頭炎も例年に比べ多く、増加傾向。 全国的にも岡山でも新型コロナウイルス感染はやや増加傾向。5類移行し、1年が経過したが、今後も人流の多い時期は流行が予想され、夏にかけ今後増加すると予想される。体調不良時は人と会うのを控えるといった心がけや、状況に応じたマスクの適正使用、適切な換気が必要となる。 入院患者数が増加、重症者も発生している。 ハイリスク患者は早期診断・治療が必要。
		定点当たり数	2.73人	3.14人	→	
		報告数に占める60歳以上の割合	29.7%	37.1%	→	
	② 保健所別定点当たり患者報告数 (注:定点医療機関は、地域により患者数や患者の年齢構成にばらつきがあり、地域別の単純比較は多少の問題があるが、同じ地域で時系列の変動を見て、流行の推移を見るには有用)	岡山市保健所	2.09人	1.77人	→	
		倉敷市保健所	3.06人	5.50人	→	
		備前保健所	1.13人	2.07人	→	
		備中保健所	2.75人	3.33人	→	
		備北保健所	8.33人	3.33人	→	
真庭保健所	2.67人	2.00人	→			
美作保健所	2.60人	4.00人	→			
入院状況	③ 入院患者数 (入院基幹定点サーベイランスより)	16人	35人	→		
	④ 人工呼吸器利用 (入院基幹定点サーベイランスより)	0人	1人	→		

*入院状況については、基幹定点医療機関(5箇所)での入院基幹定点サーベイランスより取得。感染状況コメントの中に、医療提供体制に関するコメントも付記します。